

## 長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	008	—	事業名	広聴事業	担当部課	市長公室情報課
------	-----	---	-----	------	------	---------

基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ みんなの力を結集する自治と協働のまち	会計区分	一般会計
	まちづくり行程表・フラッグ	—	予算区分(款—項—目)	
	第6次総合計画・基本目標	—	2-1-7 広報広聴費	
	法定受託事務の有無	—		
	その他(関係計画、要綱等)	—		
事業開始の背景、経緯等		幅広く市政に関する意見やアイデアを聞くことにより、より市民ニーズに沿った施策・事業を実施するため。		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 市民からの意見、提案等を聴くため「市政ご意見箱」及びアイデア提案「一平さんへひとこと！」を市内主要施設及び市ホームページに設けている。			
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市に関わる全ての人			
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市政に対する意見、提案等を集め、市政にフィードバックすることで、市民にとってより良いと感じられる行政サービスを実施する。			
	事業を構成する事務事業(B票)	① 広聴事務事業	拡充	④	
	②		⑤		
	③		⑥		

コスト推移	項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	事業費(A)	千円	予算	0	1,167	1,194	1,046	1,046
			決算	0	902	795	934	
	人件費(B)	千円	決算	8,849	9,552	12,511	12,501	
総コスト(A)+(B)	千円	決算	8,849	10,454	13,306	13,435		

成果推移	成果指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)
	A ご意見・提案 受付件数	件	目標	500	500	500	500	400
			実績	489	520	401	321	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A	市へ意見を言うことも住民の「まちづくり」への参加手段の一つととらえ、過去、ご意見及び提案をいただいた件数の実績を参考に数値目標を設定する。							
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 他市町も同様に行っている。
------	-----------------------	---

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 成果指標の目標に対して、平成29年度と比べ件数が減少する状況となっている。
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) ご意見及び提案の方法については、電話や文書より、ホームページの市政ご意見箱を利用する件数が増加している。本市をとりまく環境(子育て世代が多い等)に見合った方法を模索し、検討している。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 広聴事業は、市政に対する意見、提案等を集め、市政にフィードバックする重要な役割を果たしており、多様な手段を用意する必要がある。今後も本市をとりまく環境に見合った方法を模索し、検討していく。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 本市の目指すまちづくりにつながるような御意見及び提案は、積極的にホームページに公開し、市民主体のまちづくりにつなげていく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 市政に対する意見、提案等を行いやすくするとともに、市民主体のまちづくりにつながる取組に資するようにする。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・「市民主体のまちづくり」や行政改革指針に係る「横断的な事務の推進(連携改善)」に寄与するよう引き続き努めてください。
------	-------------------------	---

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	広聴事業		担当部課	市長公室情報課	決算書ページ	—
事務事業名	①	広聴事務事業	予算区分	2-1-7 広報広聴費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	-	終了(予定)年度	-		

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市に関わる全ての人に対して、ご意見「市政ご意見箱」及び提案「一平さんにひと言」を紙媒体と市ホームページ等にて受け付けている。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 意見及び提案を集約し、市長始め業務担当部署に引き継ぐことで、把握した市民ニーズを施策へ繋げる。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算	0	1,167	1,194	1,046	1,046
		決算	0	902	795	934	
<備考：事業費の主な内訳（30年度(2018)）>							
(1) 広聴事務賃金						934 千円	
(2)						千円	
(3)						千円	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
市政ご意見箱	件	見込	500	500	500	500	400
		実績	489	520	401	321	
		見込					
		実績					
<備考：活動の概要（30年度(2018)）>							
広聴事業は、市政に対する意見、提案等を集め、市政にフィードバックする重要な役割を果たしており、ご意見を提出しやすい多様な手段を用意する必要がある。今後も本市をとりまく環境（子育て世代が多い等）に見合った方法を模索し、検討していく。							

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

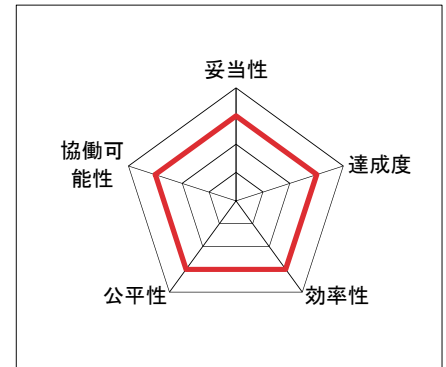
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
ご意見及び提案の方法については、電話や文書より、ホームページの市政ご意見箱を利用する件数が増加している。

## 5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況		
(前年度【予算額】)	(今年度【予算額】)	(増減額)
1,046 千円	1,046 千円	0 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》		
・前年度【今後の方向性】	現状維持	
・前年度【コメント】	広聴としてのご意見と手続等の問合せについて仕分けを行い、対応に要する時間のスピードアップを図り、市民満足度の向上を目指した。	
(3) 改善状況	(何をどのような状態に改善したのか)	
ご意見として市長まで閲覧すると回答まで時間を要する市民満足度の向上に資するため、内容によっては、「ご意見」でなく「問合せ」として直ちに担当課に繋げた。		

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



### 【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数（人）				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込	500	500	500	400
実績	520	401	321	
(2) 協働の状況（30年度(2018)）				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				
市政ご意見提出者数				

### 【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)
市民が市に対してご意見を提出する際、担当部署がどこなのかを判断できない場合がある。その際は情報課が広聴窓口としてご意見者提出者に話を伺い、迅速的確に業務担当部署に繋いでいる。

### 【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
ご意見投稿手段及び処理の見える化等について、今後も本市をとりまく環境（子育て世代が多い等）に見合った方法を模索し、検討していく。

## 7. 今後の方向性

拡充